

授業計画書(シラバス)

教科名	吹きガラス I	曜日 時間	前期:木9:00-17:00 後期:月9:00-17:00 木9:00-15:00	担当教員名	Boyd Sugiki(前期) 中神 牧子(後期)
-----	---------	----------	---	-------	------------------------------

		前期指導案		後期指導案	
（4年間授業回数）日	4月	18	25	10月	3 7 10 17 21 24 28 31
	5月	9	16 23 30	11月	7 11 14 18 21 25 28
	6月	6	13 27	12月	2 5 9 12 16 23
	7月	4	11 18	1月	16 20 23 27 30
	9月	12	30	2月	
方授業法	(講義 ・ 実技)			(講義 ・ 実技)	
授業内容	4/18～/25 安全面 道具の使い方、ホットショップ内での動き、ガラスの巻き方、マーバー、ジャック、作品を竿から取る 5/9～/30 ケインの引き方、タンブラーの作り方、アシストについて 5/23～/30 シリンダー、ボウルの作り方 6/13 クラス講評 技術課題締め切り 6/6～7/27 すぼんだ形、くびれのある形、ボトルの作り方 9/12 クラス講評 機能のある形: 飲み物のためのセット締め切り 技術課題締め切り			一年生の前期で得た技術力をベースに、今度は、自身が何を今後制作していきたいか、自身をみつめ興味あることを伸ばし、新しい発想や可能性を探り、視野を広げるべくリサーチも同時に行いながら、課題制作を進める。 課題制作1 学生の興味や時代を見ながら課題を決定する。技術ベースからの発展、繰り返しの制作など。 リサーチ この課題制作に基づき課題に対するリサーチを行う。 スケッチ 制作におけるアイデアスケッチやテクニカルドローイングを行う。 スケッチミーティング 随時、学生一人ひとりとアイデアについてミーティングを行う。 11/18 クラス講評 課題制作2 課題制作1を経て課題を確定していく 1/27 クラス講評 1/30 制作日 リサーチなどを共有し、またクラス講評では、作品発表について実践し、他の学生らと意見交換を行う。	
到達目標	“タンブラー、シリンダー、ボウル、ボトルなどの形を形成するための、しっかりとした基礎を身につける。 共同制作などを通して、技術習得に取り組む。”□			学生の興味、特性を生かし各々のホットワークとの関わりを模索していく。またクリエイティブなアイデアを発展させるべくスケッチやリサーチを進め、2年次に向け、自身の作品作りのベースを築く。また作品を完成させ、空間の中で展示することを学ぶ。	
成績基準評価	完成作品、クラスでの積極性、出席率、態度、スケッチブックの確認			出席率/授業態度、授業への取り組み方/提出物/課題に対する捉え方、アイデア出し、作品スケッチ/リサーチに対する取り組み/課題作品の展示/完成度や出来映え、アイデアの言語化 等。	
留意事項	必要なもの、追加の活動など: ブローパイプ、ポンテ、道具類、トーチ、クリアガラス				